

# 衆議院財務金融委員会ニュース

【第204回国会】令和3年1月26日（火）、第1回の委員会が開かれました。

## 1 国政調査承認要求に関する件

・以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

- ① 財政に関する事項
- ② 税制に関する事項
- ③ 関税に関する事項
- ④ 外国為替に関する事項
- ⑤ 国有財産に関する事項
- ⑥ たばこ事業及び塩事業に関する事項
- ⑦ 印刷事業に関する事項
- ⑧ 造幣事業に関する事項
- ⑨ 金融に関する事項
- ⑩ 証券取引に関する事項

## 2 令和元年度歳入歳出の決算上の剰余金の処理の特例に関する法律案（内閣提出第3号）

- ・麻生財務大臣から趣旨の説明を聴取しました。
- ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、赤澤内閣府副大臣、伊藤財務副大臣、山本厚生労働副大臣、船橋財務大臣政務官、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・階猛君（立民）及び清水忠史君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、公明、維新、国民 反対－立民、共産）  
（参考人）日本銀行総裁 黒田東彦君  
（質疑者）津島淳君（自民）、海江田万里君（立民）、階猛君（立民）、櫻井周君（立民）、清水忠史君（共産）、青山雅幸君（維新）、前原誠司君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 津島淳君（自民）

- (1) 米国イエレン新財務長官と早期に会談を行うべきとの意見に対する大臣の考え
- (2) 令和元年度歳入歳出の決算上の剰余金の処理の特例に関する法律案
  - ア 意義
  - イ 同法律案を財源とする令和2年度第3次補正予算案の内容
  - ウ 我が国の経済状況と決算剰余金の発生要因についての令和元年度決算に関する財務省の分析
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の経済が財政に与えていた影響についての財務省の分析

### 海江田万里君（立民）

- (1) 令和2年分の確定申告の申告期限の延期を早期に確定し、周知すべきとの意見に対する大臣の見解
- (2) 令和元年度歳入歳出の決算上の剰余金の処理の特例に関する法律案は、発行限度額について国会の議決が必要な特例公債を抑制させ、国会の議決が不要な借換債の発行とするためのものではないかとの意見に対する大臣の見解
- (3) 特例公債発行に対する歯止めがきかなくなっているとの意見に対する大臣の見解
- (4) 公債に頼らず税制等でしっかりと財源を確保しこれ以上の財政悪化を防ぐための議論を始める

必要性についての大臣の所見

**階猛君（立民）**

- (1) 令和元年度歳入歳出の決算上の剰余金の処理の特例に関する法律案
  - ア 本法律案は国債発行抑制にはつながらず必要性がないとの指摘に対する大臣の見解
  - イ 税収が下振れする中で剰余金が発生した場合には当該剰余金は公債又は借入金の償還財源に充てべきとの意見に対する大臣の見解
  - ウ 新型コロナウイルス感染症対策予算については、特別会計や独立財政機関等の設置について議論すべきとの意見に対する大臣の見解
- (2) 森友学園問題に係る財務省による文書改ざん等に関する予備的調査の目的が民事訴訟の目的と同一とする根拠についての大臣の認識

**櫻井周君（立民）**

- (1) ふるさと納税の返礼品を廃止すべきとの意見に対する予算の査定官庁たる財務省の見解
- (2) 日本銀行の金融政策
  - ア 我が国における 2010 年以降の 10 年間のデフレが貨幣現象か否かについての日銀総裁の見解
  - イ 我が国の財政状況や財政健全化の方策について、日本政府に対する最大の貸し手である日本銀行の総裁としての見解

**清水忠史君（共産）**

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策
  - ア PCR 検査を迅速に受けられる体制が整っていない理由
  - イ 行政検査の費用を直接国費で負担する必要性
  - ウ 持続化給付金制度等の延長の是非についての大臣の見解及び政府支援によりモラルハザードが生じた事例の有無
- (2) 令和 2 年度第 3 次補正予算に多額の防衛装備品に係る後年度負担分が前倒しで計上されている理由

**青山雅幸君（維新）**

- (1) 大学ファンド創設やカーボンニュートラルに向けた技術開発新基金創設のための費用が本予算ではなく令和 2 年度第 3 次補正予算に計上されている理由
- (2) 新型コロナウイルス感染症の終息後のプライマリーバランス黒字化に向けての取組の必要性に対する大臣の見解

**前原誠司君（国民）**

新型コロナウイルス感染症対策

- ア 令和 2 年度第 3 次補正予算における新型コロナウイルス感染症対策費の額が不十分であるとの意見に対する大臣の認識
- イ 特別定額給付金や持続化給付金を再給付する必要性
- ウ 飲食店に商品を納入している業者や生産者に対する支援策
- エ 変異型コロナウイルスの感染拡大を防ぐという政府としての意思を示すとともに、防疫体制を整備する必要性